



# 社会・環境報告書



## セメダイン株式会社

本社事業所 〒141-8620  
東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー  
☎(03) 6421-7411

大阪事業所 〒542-0081  
大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル  
☎(06) 4964-5330

名古屋事業所 〒464-0026  
名古屋市中種区井上町34  
☎(052) 781-3166

札幌営業所 ☎(011) 271-4929

仙台営業所 ☎(022) 287-3611

北関東営業所 ☎(0280) 92-9639

福岡営業所 ☎(092) 273-2070

<http://www.cemedine.co.jp/>

商品に関するお問い合わせ先: 接着技術相談センター  
☎0120-58-4929 (土曜日・休日を除く10:00~17:00)



この社会・環境報告書には、有害なVOC(揮発性有機化合物)成分が含まれていない植物油インキ、印刷時に浸し水を使用せず同じくVOCを大幅に低減する水なし印刷が採用されています。





# セメダインの歴史

“人を大切に、より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する”  
 1923年の創業以来変わることないこの企業理念に基づき、  
 私たちセメダインは人と地球に優しい社会的価値の創造に貢献し続けてきました。

## Index

- 01 セメダインの歴史
- 02 目次
- 03 トップメッセージ
- 05 セメダイングループ
- 07 **特集1** お客様・取引先の皆様とともに歩んで90年。
- 09 **特集2** 商品開発に込められた環境配慮マインド。
- 11 **特集3** 環境と安全への配慮から生み出される品質。
- 13 **特集4** 私たちの暮らしに身近なセメダイン製品。
- 15 CSRへの取り組み
- 17 お客様・取引先の皆様とともに
- 18 株主・投資家の皆様とともに
- 19 社員とともに
- 21 地域社会とともに
- 23 環境への取り組み
- 24 環境マネジメントの定量的評価
- 25 事業活動と環境負荷
- 26 環境会計
- 27 環境への配慮
- 28 エネルギー使用量・廃棄物の管理
- 29 化学物質の適正管理
- 30 第三者意見

創業  
90周年



本報告書の担当責任部署：  
 セメダイン(株)品質管理部  
 連絡先：  
 〒141-8620  
 東京都品川区大崎1-11-2  
 ゲートシティ大崎イーストタワー  
 TEL：03-6421-7413  
 FAX：03-6421-7416

報告の対象となる組織：本報告の対象組織は、茨城事業所(茨城工場、開発センター)、三重事業所、本社事業所となります。その他の事業所に関連する場合、注記することとしています。  
 報告対象期間：本報告書の記載内容は、特に注記のない限り、2013年4月から2014年3月までを報告対象期間としています。  
 編集の基本方針：環境省「環境報告ガイドライン」(2007年度版)を参考とし、ガイドライン項目に準拠して記載しています。

● 事業の歴史 ● 製品の歴史 ● 表彰・その他

# 90年目も新しい。 つける技術で世界のものづくりを 進化させ続けるセメダイン。



## はじめに

セメダイン株式会社は1923年の創業以来、身近な文具・工作用途からはじまり、現在では建築土木や電機、車載部品などあらゆる分野のニーズを捉え、接着剤、シーリング材を中心とした製品とともに、「つける」技術をご提供することで多種多様なお客様のご期待にお応えしてまいりました。

求められる製品の機能の変化とともに、木工から金属、樹脂、炭素繊維等へと素材は多様化し、これにあわせ接着する方法や接着に求められる性能も進化してきました。

今日では、こうした接着剤、シーリング材などに、環境、安全に配慮した性能が不可欠のものとなっております。

## 社会・環境の考え方

かつては、有機溶剤にゴム成分をブレンドした製品が接着剤の主流を占める時代もありましたが、今日、環境や安全の問題はすべての分野で重要な課題となっております。

とりわけ化成成品製造メーカーである当社にとって、この問題は正面から取り組まなければ企業の将来はないといえるものであります。当社は変成シリコン樹脂を主原料とした無溶剤製品を業界の先駆けとして製品化しましたが、これを主軸に、環境配慮に関する独自の基準として「CCS (CEMEDINE CLEAN&SAFE) 基準」を設け、製品ラインナップを充実させています。

また、海外事業展開を加速させている当社にとって、各

## 基本理念

人を大切にし、  
社会から信頼される企業であること

### 人とは

▶我が社の製品を買っていただくお客様を始めとして、我が社が日々のビジネスを推進していく為に売ってくれる人、運んでくれる人など、すべての取引先の皆様

▶株主の皆様

▶社員

事業を推進していく為に関与する  
すべての人々を大切にし、  
社会貢献を果たすこと

## 経営の方針

### 法令遵守の徹底

- 社会的使命としての法令遵守 (コンプライアンス) を最重要事項とする
- 「セメダイン行動規範」の遵守を基に、法化社会に対応する

### 顧客重視

- お客様の求める価値の意味を正しく理解し、製品を提供する
- 提案型企業としてお客様の信頼を勝ち取れるように努力する

### 利益重視

- あらゆる分野における生産性の向上
- 最適生産性の追及とその実現の為に行動すること
- 利益を生む製品、将来の柱になる製品への経営資源の集中的、選択的投入
- 変化に対して積極的、挑戦的であること

国の化学物質、有害物質に対する規制に迅速かつ的確に対応していただくことが重要です。

ひとりひとりのお客様への取り扱いに関する注意喚起はもちろん、お客様が環境や安全に配慮して設計し、生産した製品の性能にマッチした接着剤、シーリング材などをご提供することが私たちの責務であると考えています。

一方、社会貢献活動といたしまして、2013年、当社は創業90周年を迎えたことから、学研 まんがでよくわかるひみつシリーズとして「接着剤のひみつ」を発刊、全国の学校図書館、児童館などに配布し、特に接着剤に接する機会が少ない若年層に向けて啓蒙活動をおこなってまいりました。

その他、企業が社会に受け入れられるために必要な種々の活動も継続的に進めております。これらについては本書にまとめております。

## グローバル化

わが国では、今後の少子高齢化社会に向けて、ますます国内に大きな市場を求めることが困難になります。

当社は今期、中期経営計画 (CC23 セメダイン チャレンジ 23) の4年目を迎えています。CC23では、期間中に当社グループの海外売上高比率を全売上高の30%にすべく取り組んでおり、中でもお隣の中国をはじめ東南アジア各国での事業展開を積極的に進めているところです。

先にもお話しした通り、各国の法規制はより厳しくなっており、その変化のスピードも速くなってきています。こうした各国の法律をはじめ、生活環境や生活様式、またそこに生活する人々の持つ価値観の違いを理解したうえで、単

なる製品の販売だけではない問題解決型の企業への脱皮、次世代に向けた新しい市場・用途の開拓を通じて、すべての「人」を大切にする理念を守り、国内外の社会に貢献する企業であり続けることを目指してまいります。

## 今後の展望

国内では、東北地方の復興需要や首都圏の社会インフラの再構築などにより建築土木関連市場は堅調に推移すると考えられます。その際、製品の安全性はもちろんのこと、長期耐久性を求められることになるでしょう。当社はそうしたニーズに応えられる製品を揃えており、また開発も行っております。

一方で、すでにお客様からは海外での調達のご要望を多くいただいております。長期的な視点で見れば、今後海外の規制に対応しうる製品のよりいっそうの充実が求められております。現地で材料を調達し、生産、販売するという一貫体制を作りつつあり、国内外で信頼されるセメダインブランドの製品をご提供してまいります。

本書をご一読いただき、セメダイン株式会社をより身近に感じていただければ幸いです。

代表取締役社長

荒井 進

# セメディンググループ



## 海外の主な関係会社

- 1 CEMEDINE THAILAND CO., LTD**  
1717-1723 Onnut RD, Suanluang Bangkok 10250 Thailand
- 2 ASIA CEMEDINE CO., LTD**  
1717-1723 Onnut RD, Suanluang Bangkok 10250 Thailand
- 3 思美定(上海)貿易有限公司 / CEMEDINE SHANGHAI CO., LTD**  
200333 中国上海市普陀区岚皋路567号品尊国际中心B座1708室
- 4 台湾施敏打硬(股)公司**  
台湾新北市淡水區下圭柔山76-3號
- 5 CEMEDINE PHILIPPINES CORP.**  
Cavite Eco-Zonell, Rosario Cavite Philippines 4106

## 会社の概要 (2014年3月31日現在)

|              |  |                |                                |
|--------------|--|----------------|--------------------------------|
| <b>会社名</b>   | セメディング株式会社   | <b>設立</b>      | 昭和23年4月22日(創業:大正12年11月)        |
| <b>本社所在地</b> | 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー                         | <b>代表取締役社長</b> | 荒井 進                           |
| <b>事業内容</b>  | 接着剤・シーリング材・粘着材・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売<br>接着および防水などに関する施工および請負 | <b>資本金</b>     | 30億5,037万5千円<br>(東京証券取引市場2部上場) |
|              |  | <b>従業員数</b>    | 264名                           |

### ●売上高(連結)



### ●経常利益(連結)



### ●当期純利益(連結)



- 1 本社・東京事業所**  
〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー



- 4 三重工場**  
〒519-1106 三重県亀山市関町会下142-7



- 2 茨城工場**  
〒306-0204 茨城県古河市下大野2184



- 3 開発部**  
〒306-0221 茨城県古河市駒羽根94-2



## 国内の事業所

- 5 大阪事業所**  
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル8階
- 6 名古屋事業所**  
〒464-0026 名古屋市千種区井上町34
- 7 札幌営業所**  
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9-3
- 8 仙台営業所**  
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 齋喜センタービル2階
- 9 北関東営業所**  
〒306-0204 茨城県古河市下大野2184
- 10 広島営業所**  
〒730-0045 広島市中区鶴見町12-13 (昇和ビル)
- 11 福岡営業所**  
〒812-0039 福岡市博多区冷泉町4-17 (祇園NKビル5階)

## 国内の主な関係会社

- 1 セメディングオートモーティブ株式会社**  
[本社・東京営業所]  
〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー  
※「セメディングハンケル株式会社」から社名を変更しております。  
[名古屋営業所]  
〒464-0026 名古屋市千種区井上町34  
[技術開発部]  
〒306-0221 茨城県古河市駒羽根94-2  
[衣浦工場]  
〒447-0854 愛知県碧南市須磨町1-11  
**事業内容**  
自動車向け接着剤・シーリング材・コーティング材および成型部品などの開発・製造・販売
- 2 セメディング化工株式会社**  
〒306-0204 茨城県古河市下大野2184 セメディング茨城工場内  
**事業内容**  
接着剤・シーリング材等の化学製品の製造
- 4 セメディングケミカル株式会社**  
[岡山工場]  
〒716-1554 岡山県加賀郡吉備中央町西152-7  
**事業内容**  
接着剤、シーリング材の製造・販売

### topics

**衣浦工場：地域の防災に関する活動に参加**

- ・衣浦港消防防災訓練(6~7月)
- ・碧南市総合防災訓練(8月)
- ・消防出初式、防火たこあげ大会(1月)



### topics

**緑化事業による環境美化のための植樹を実施**

緑豊かな岡山の実現を目指して、緑を守り、創り、親しむ活動に積極的に参加しています。





創業90周年  
special feature 1

# お客様・取引先のと 皆様と ともに歩んで 90年。



## 100周年を目指して、 セメダインの挑戦。

1923年、今村善次郎が日本初の国産接着剤の製造販売を開始し、当社は昨年11月、創業90年を迎えました。これを記念し、社会貢献活動として学研 まんがでよくわかるシリーズ「接着剤のひみつ」を発刊、また、グループ社員の啓蒙のため当社製品やこれまでの当社の出来事を掲載した小冊子を作成、配布いたしました。

お客様へは、各種キャンペーンを展開するとともに当社主催のセミナーを開催いたしました。

### 創業90周年記念「接着剤のひみつ」発行

学研の子供向け人気教材である「まんがでよくわかるシリーズ」より、「接着剤のひみつ」を2013年8月に刊行、全国約23,000の小学校および公立図書館約3,000館に寄贈しました。接着剤の歴史、種類、使われ方など漫画でわかりやすく説明しており、次世代の子供たちの接着剤に対する興味が広がる内容になっています。

### 創業90周年記念「プライベートセミナー」開催

2014年3月13日と4月17日に創業90周年記念として、電気電子部品メーカーを中心としたお客様とのコミュニケーション向上を目的としたプライベートセミナーを開催しました。

当初の定員を大幅に上回るお申込みをいただき、急遽、追加セミナーを開催しました。新製品紹介のほか、製品サンプル展示を通し、多くのお客様に最新の接着技術に触れていただきました。

セミナー終了後には活発な接着相談も行われ、「接着」に関する課題解決パートナーとしてのセメダインを強く印象付けました。

### これまでとは違った新しいセメダインをPR

接着剤の代名詞ともいわれた「セメダイン」。接着剤に馴染みが浅い年代には「接着剤のひみつ」でその生い立ちと「くっつく」ことを学んでいただき、グループ社員には改めて当社と当社製品を理解し、結束を固めていきました。

またキャンペーンとセミナーでは、お客様に対しこれまでとは違った新しいセメダインのPRをしました。

経営企画室長  
諸田一郎



### 全てのお客様へ、 つける力の可能性を訴求。

#### 国際文具展に出展

2013年6月に行われたアジア最大級の文具見本市「国際文具展」に出展しました。

新製品である超多用途型接着剤「スーパーXハイパーワイド」の他、これまでにない貼って剥がせる粘着剤「セメダインBBX」を発表。使用する形を選ばず使用でき、糊のこりなく剥がせる機能が数多くのメディアに取り上げられ、昨今機能性文具が注目されている文具市場で大きな反響を頂きました。

#### ネプコンジャパンに出展

2014年1月、エレクトロニクス製造・実装・検査に関するアジア最大級の見本市「ネプコンジャパン」に出展しました。

再剥離可能な粘着剤BBXや、UV硬化型弾性接着剤シリーズを展示し、工業・電子機器用の最先端接着技術を積極的に提供・提案、BtoB企業としてのセメダインの認知拡大に努めました。近年



当社が進めているBtoBマーケティングの取り組みの一つとして、本年度は後日開催した90周年セミナーにもつながる多くのリードの獲得が達成できました。

### JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2013

2013年8月、日本最大級の住生活関連総合展示会「DIYSHOW」に出展、ファミリー層に向け、DIYに使用できる接着剤を実演を通して広くPRしました。

また、従来の難接着材料の接着を可能にした新製品「スーパーXハイパーワイド」が、その超多用途性を評価され経済産業省製造産業局長賞を受賞。また、1938年の発売より75年が経つ「セメダインC」がヒット商品部門「ロングセラー賞」を同時受賞しました。



### 日本ホビーショーに出展

2014年4月に行われた、アジア最大級のとづくりホビー&クラフトフェア「日本ホビーショー」に出展しました。

デコレーション・クラフトなどホビー専用接着剤の販売を行い、女性・若年層に向けた、「可愛い」セメダインの認知拡大活動を行いました。

また、プロデコリストによる作品展示、ワークショップを実施し、多くのお客様に、セメダインの世界を「見る」「触る」の両方から体験して頂きました。



### 2013年度展示会実績

| 展示会名        | 開催日程               | 会場           | 出展内容                              |
|-------------|--------------------|--------------|-----------------------------------|
| 日本ホビーショー    | 2013年<br>4月25-27日  | 東京<br>ビッグサイト | ホビー用接着剤販売、<br>デコワークショップ           |
| 静岡ホビーショー    | 2013年<br>5月16-19日  | ツインメッセ<br>静岡 | 模型用接着剤販売                          |
| 国際文具店       | 2013年<br>6月26-28日  | 東京<br>ビッグサイト | 文具系接着剤 (BBX・<br>ハイパーワイド)          |
| 建築再生展       | 2013年<br>7月3-5日    | 東京<br>ビッグサイト | 柱脚補強工法、J-ROCK<br>Y751、EXCEL I、II他 |
| DIYSHOW     | 2013年<br>8月29-31日  | 幕張メッセ        | BBX・ハイパーワイド                       |
| 全日本模型ホビーショー | 2013年<br>10月11-13日 | 幕張メッセ        | 模型用接着剤販売                          |
| ネプコンジャパン    | 2014年<br>1月15-17日  | 東京<br>ビッグサイト | UVシリーズ・<br>BBXシリーズ他               |

### 接着技術と商品開発を通じて社会貢献

お客様とのコミュニケーションを常に大切にし、展示会を通じて当社の最新の接着技術を感じていただくとともに、いただいたお客様の声を商品開発に活かし、社会に貢献してまいります。

営業統括部長  
藤原靖博





イチオシ製品  
special feature **2**

# 商品開発

紙だけじゃない!  
いろいろ貼れる  
PASTE

「紙だけじゃない、貼りごち。」を実現した『PASTE (パステ)』(第一事業部)

第一事業部は、主に家庭用品を支える製品を担当し、環境配慮は社会からの要請として高まっています。

第一事業部のイチオシ製品は、『PASTE (パステ)』というセメダイン水性のりの21世紀バージョンとして開発された速硬化接着剤です。「紙だけじゃない、貼りごち。」をキャッチフレーズに、紙や布だけでなく金属・合成ゴム・硬質プラスチックなど幅広い材料に接着できます。水性のため火気の心配がないだけでなく嫌なニオイもなく、手についても乾く前なら水で落ちます。今後の展望として、スーパーXシリーズをはじめとした無溶剤化に加え、成長が期待される水性・多用途化の製品開発および展開を推進していきます。

従来にない新たなフローリング用接着剤『フロアロック110』(第二事業部)

第二事業部は、建築用途で使用される床用接着剤、外装タイル用接着剤、新規建築内外装接着剤・シーリング材の企画開発を行っています。

第二事業部のイチオシ製品は、『フロアロック110』という従来にない新たな変成シリコーン系1成分形木質床フローリング用接着剤です。接着剤施工時の拭き取り性、床更新時の易剝離性

第一事業部長  
三浦 到



第二事業部長  
秋本 雅人



第三事業部長  
岸本 正昭



# に込められた環境配慮マインド。



床施工に必要な  
様々な性能を持つ接着剤  
フロアロック110

「環境配慮」、「省エネルギー」、「グローバル」を合言葉に環境配慮マインドを醸成

セメダインは、環境負荷低減に配慮した商品開発を業界に先駆けて行っています。建築・土木市場では、長寿命、超耐久性、省エネルギーやシックハウス対策などに取り組み、一般消費者市場でも、省エネルギーでの接着や廃棄の削減につなげています。工業市場では、省エネルギー化や有害化学物質の不使用、海外法規制への対応などを進めています。

接着剤業界に対する環境への責任は強まっており、環境負荷低減品の開発は事業戦略としても重要な課題です。「環境配慮」、「省エネルギー」、「グローバル」を合言葉に環境配慮マインドを醸成し、持続的に環境配慮品を提案することで社会に貢献してまいります。各事業部によって異なるニーズに対応したイチオシ製品と、今後の展望をご紹介します。

取締役  
営業統括本部長  
鈴木 禎爾



という従来ウレタンにない特長に加えて、床暖房における床拘束性を大幅に高めた画期的な接着剤です。

今後の展望として、1) 高耐久、長寿命シーリング材 2) 易更新木質床フローリング用接着剤 3) 住宅基礎・柱脚高速耐震補強システムなど、新規住宅の長寿命化、リフォーム促進による延命といった建築業界全体としての環境配慮をサポートしていきます。

製品寿命の向上に貢献する『SX-ECAシリーズ』(第三事業部)

第三事業部は、主に工業関連市場全般を担当しています。お客様のニーズは様々であり、品質・サービス向上のためにお客様とのコミュニケーションを大切にしています。

第三事業部のイチオシ製品は、『SX-ECAシリーズ』という導電性接着剤です。低温硬化性・弾性に加え、フレキシブル基材への低温実装、回路形成というニーズに対する優れた接着性をもち、製品寿命の向上に貢献します。スマートフォンやデジタルカメラのほか、今後の新しい製品への採用が期待される製品です。

今後の展望として製品輸出の増加が想定されますが、海外法規制に対する考慮も必要であり、日々規制が厳しくなる現状を認識し、環境配慮製品のご提供を継続していきます。



動きに強い、  
弾性導電性接着剤  
SX-ECAシリーズ



ECA19



## 原材料の調達

原材料調達は、公正・公平を基本に、品質はもとより、環境への配慮・安定調達・価格等を重視して取引を行っています。お取引様と密接にコミュニケーションをとり、当社が制定した“グリーン調達ガイドライン”をご理解いただき、お互いが納得できる規格制定に努めて運用しています。



購買課長  
黒澤 茂

### 1 原材料の保管



## 検査

出来上がった製品は、一部をサンプリングし、スペックに合格しているかどうかを検査します。検査結果で出荷の可否が決定されますので、検査にはスピードと正確さが求められます。検査員は、“安全・安心な製品をお客様へお届けする”という使命感・緊張感を持って、日々仕事に取り組んでいます。



### 6 製品の接着試験

## 製造工程

茨城工場は、自家発電“コージェネシステム”により電力を賄っており、発電に伴って排出される熱エネルギーも有効活用することでCO<sub>2</sub>削減に貢献しています。また、品質規格ISO9001・環境規格ISO14001の認証を取得し、使用するエネルギーから各生産工程に至るまで品質と環境を常に意識し実践しています。

茨城工場  
製造課長  
新田俊之

### 2 製造釜



品質管理部  
品質管理グループ課長  
駒場幸雄

## 出荷

完成した製品は、一度物流センターへ集められ、その後配送指示によりお客様へ納品されます。“必要な物を、必要な時に、必要な分だけ”を念頭に物流品質の向上・お客様満足度の向上を日々考えています。また、最適物流センターからの出荷、地域別運送会社、輸送配置など迅速かつ安全にお届けできる物流体制を築いていけるように取り組んでいます。

物流部長  
西下邦彦

### 4

### 5 充填工程



### 3 製造中での混合工程



セメダインの製品が  
できるまで  
special feature **3**

# 環境と安全への 配慮から 生み出される品質。



### 7 製品の保管



### 8 製品の出荷



お客様  
のもとへ



CCS製品

つくることはつけること  
special feature **4**

# 私たちの暮らしに身近な セメダイン製品。

第一事業部 企画開発グループ課長  
岩原 慎一郎



## 第一事業部

壊れたものを補修する従来のDIY接着剤から、身の回りに存在し、お客様の日常に寄り添う文房具イメージを強調しています。水性接着剤というと、頼りない感じをお持ちかもしれませんが、是非一度お試しくださいと思います。

### イチオシ

## 1 PASTE

ウレタン樹脂  
エマルジョン系接着剤

【用途】紙以外にも、金属・プラスチックに使用可能



## 2 BBXスリム

貼ってはがせる弾性粘着剤

【用途】フィギュアの固定・ポスターの貼り付けなど、幅広い用途に使用



## 3 EXCEL II

ガラス廻り目地・金属パネル  
板間目地用シーリング材

【用途】ガラス廻り・外装パネル

JSIA F☆☆☆☆



## 4 ボードロックSF

内装・各種建築  
ボード用接着剤

【用途】キッチンパネル

JAIA F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合



CCS=Cemedine Clean & Safe

- 厚生労働省指針値策定14物質を使用しない
- 毒物・劇物を使用しない
- アスベストを使用しない



## 第二事業部

第二事業部 企画開発グループ課長  
桑田 勉



従来の居住者様への配慮は勿論のこと、接着剤を使用される作業中、更にはリフォーム時の解体のし易さもある部材を傷めないという地球資源に対する環境にも配慮した、一歩進んだ環境対応製品です。

### イチオシ

## 5 フロアロック110

一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤

【用途】各種床施工用

## 6 タイルエース

内外装タイル用  
接着剤

【用途】内外装タイルの接着

JIS A 5538

F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合



## 7 ボードロック310

各種建築ボード用接着剤

【用途】石膏ボードと化粧ケイカル等各種ボードの接着

CEMEDINE  
CLEANS&SAFE

やさしい言葉  
CCS

JIS A 5548・5557

F☆☆☆☆

JAIA 4VOC基準適合



第三事業部 企画開発グループ  
隅谷 徳誠



## 第三事業部

今後もお客様より、「セメダインに聞いてみよう!」と思われるよう、新たなソリューションを提案します。

### イチオシ

## 8 SX-ECAシリーズ

一液低温硬化形  
フレキシブル導電性接着剤

【用途】マイクロスピーカー・モバイル機器の電線部の導電性接着



## 9 スーパーX No.8008シリーズ SX720シリーズ

一液・無溶剤・  
常温速硬化形接着剤

(ハロゲン系・酸化アンチモン・リン系材料未使用)  
(厚生労働省指針値策定14物質未使用)

【用途】スマホ・タブレット等モバイル機器の筐体の接着/電化製品の基板部品のガタ防止

JAIA F☆☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合



## 10 SXA142 SXA143改

一液・無溶剤・  
常温速硬化形接着剤

【用途】保冷車のパネル接着・組み立て



## 11 EP138

無溶剤・耐薬品性に優れる  
エポキシ樹脂系一液形接着剤

【用途】テレビなどの各種金属や電子基板材料の接着



## 12 Y600シリーズ

低臭気二液形  
アクリル接着剤

【用途】ゴルフのヘッドとシャフトの接着などスポーツ用品の組み立て





# CSRへの取り組み

当社は企業の成長と持続可能な社会の実現を目指し、お客様や社会から信頼される企業であり続けるために、CSRマネジメント体制の強化に取り組んでいます。

## 行動規範

### 基本理念

セメダイングループの役員及び社員は、業務遂行にあたり、法令・社内規程等を遵守するとともに、公正と秩序、誠実と信頼をモットーとし良識ある社会人として行動する。

### 行動指針

- 1 法令等を遵守し、業務上の都合を優先させるようなことはしません。
- 2 就業規則その他の社内規程等を守り、互いに人格を尊重し、就業環境の向上に努めます。
- 3 社会と社員の安全を最優先します。
- 4 業務遂行に当たり、リスク要因の情報収集と未然防止に努めます。
- 5 取引先には誠実かつ公正に接し、信頼される取引関係を築きます。
- 6 業務上知りえた情報や第三者の知的財産権等を適切に取り扱い、インサイダー情報、個人情報及び社内機密情報を漏洩しません。
- 7 反社会的勢力には毅然として対応し、一切の関係を遮断します。
- 8 行動規範に反する発言や行動に気づいた場合は、是正に努めるとともに、速やかに上司またはコンプライアンス・リスク管理委員会に報告します。

### voice

セメダインは、企業の社会的責任を果たすために、ステークホルダーに対する感度を高め、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメント、内部監査等の仕組みの中でCSR基盤を強固にして会社を守るとともに、自分たちの強みをさらに強化して社会の期待・信頼に応えられる体制を構築し、社会に貢献していきます。



執行役員  
品質管理本部長  
川本隆文

## CSRを支える体制

内部監査は取締役会により構築されたガバナンスとリスク・コンプライアンス体制のもと、内部監査人協会の“内部監査の専門職的実施の国際基準”に準拠し、経営目標の達成に寄与することを目的としています。

全部署を対象とし、内部監査規程およびリスク評価に基づいた監査実施計画をたて、合法性・合理性の観点より、公正かつ独立の立場にて、業務遂行状況の有効性・効率性を評価しています。

監査結果に基づき業務の改善・是正を提案し、定期的に取り締めに報告されます。

なお、内部監査部門長は監査役および会計監査人と監査情報の緊密な連携を保ち、監査の効率的な実施に努めています。

### voice

内部監査を担当する監査室の五味です。監査業務は“独立性と客観”を確保した上で、“熟達した専門的能力および専門職としての正当な注意”を持ってアシュアランス業務およびコンサルティング業務が行えるよう、継続的な学習によりレベルアップに努めています。



監査室長  
五味秀樹

## コーポレート・ガバナンスの状況

当社は、経営の効率化並びに経営の透明性、公正性を高め、安定的に企業価値を高めていくために、経営上の組織や仕組みを整備し必要な施策を実施し、株主利益に根差したコーポレート・ガバナンスの実現を目指します。

当社の取締役は9名以内とする旨を定款で定めており、取締役会は取締役6名で構成されています。迅速かつ確かな経営判断がなされるよう適正な構成としており、毎月の定例取締役会の他、必要に応じて臨時の取締役会を開催し重要事項を決定しています。また、経営判断を迅速かつ適切に行えるよう、業務運営上の重要課題を審議、決定する機関として経営会議を設置し、毎月2回を目処に開催しています。



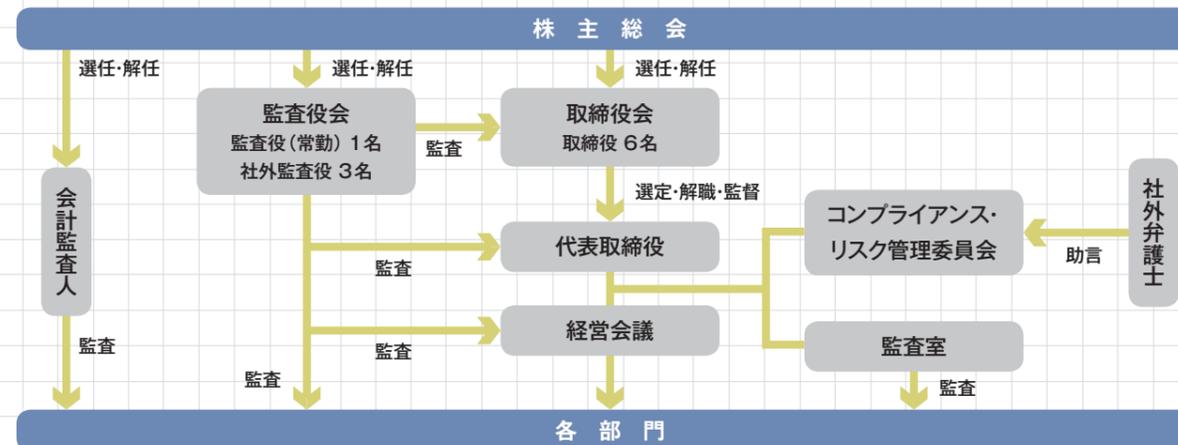
管理部長  
大給近尚

また、当社は監査役制度を採用しており、監査役会は監査役4名で構成され、内3名が社外監査役です。

## リスク管理体制の整備の状況

品質、環境、災害、情報セキュリティおよび輸出管理等に係るリスクについて、「コンプライアンス・リスク管理委員会」が組織横断的に監視および対応を行い、速やかな情報の収集と的確な処理に努め、会社に重大な影響を与えるリスクが認識されたときは、取締役会において速やかに対応責任者となる取締役を定めることとしています。これらのリスクを未然に防止し、適切に管理するために、「コンプライアンス・リスク管理マニュアル」に、規則・ガイドラインの制定、研修の実施、マニュアルの作成・配布等を行うことを定めています。更に、複数の法律事務所と契約を結び、必要に応じて適切な助言と指導を受けることによりリスク管理の強化を実現しています。また、従来以上の品質保証体制を構築し、機能させるために、新たに「品質管理本部」を設置し、セメダイングループ各社の品質保証・品質管理への対応もより強化させ同本部に担わせることとしています。

### ●コーポレート・ガバナンス



# お客様・取引先の皆様とともに

お客様にご満足いただけるよう、安全・安心な製品・サービスに関する情報を提供するとともに、お客様への対応の充実に取り組んでいます。

## 品質保証

### 品質保証体制

当社は、茨城工場、三重工場それぞれに品質の国際標準であるISO9001の認証を受けています。茨城工場(事業所)については1998(平成10)年にISO9002で認証を受けた後にISO9001に切り替え、三重工場(事業所)については2002(平成14)年にISO9001で認証を受け、以降3年毎の更新審査を経て、現在も認証を維持しております。

また、当社は1966(昭和41)年に一般工作用のJIS表示認定を受けて以降、木工用接着剤、建築用接着剤、建築用シーリング材の認定を取得し、JIS認証の仕組みが変更された2008(平成20)年に、新たに(財)化学物質評価研究機構を認証機関として、JISの認証を取得しました。

これらのISO、JISの品質管理の仕組みを基本として、全ての製品が安定した品質管理の仕組みのもとでご提供できるように取り組んでいます。

### 監査・査察

当社の工場(茨城・三重)を始めとして、グループ会社であるセメダイン化工、セメダインケミカル(岡山)、アジアセメダイン(タイ)、台湾セメダイン、セメダインフィリピンなどの各製造拠点において、セメダインの製品が一定の品質管理体制のもとでお客様に供給できるよう、生産の仕組み、品質管理の体制等の定期的なチェック、助言を実施しています。



アジアセメダインでの定期的監査の実施



品質保証部長  
阿部祐輔

voice

当社は製品数が多く、お客様も日本国内から海外までたくさんおられます。各製品がお客様のご使用される用途に適合するか、問題を起こさないか、緊張を切らせることができない業務と認識しています。お客様の活動拠点が海外にシフトしていく中で、トラブルの発生報告も海外から寄せられることが多くなり、短時間での解決が難しい場合も増えていますが、国内と同様の対応ができるように、試行錯誤もありますが、全力でお客様のご要望にお応えできるよう努力してまいります。

### 品質保証委員会

品質保証システムが十分に機能しているかを継続的に検証する場として、茨城、三重のISO事業所において、品質システムの問題点、改善の方法を議論し、よりよい仕組みになるように定期的(1回/月)に会議を開催しています。また、毎月の品質結果を確認、問題を解決する具体的な議論の場として、品質検討会(茨城事業所)などの会議で活動しています。

### お客様からのお声に対する取り組み

接着技術相談センターでは、製品と付随するサービスについてのお問い合わせを主に、フリーダイヤルとホームページ経由のメールにて、お受けしております。また、昨年にはホームページ上のQ&Aページの改訂を行い、お問い合わせの多いものについては適時、回答をアップするよう心掛けてきました。

今後、更なる充実を図れるよう、お客様の声を苦情連絡票やレポートで社内共有し、製品・サービスの向上につながるよう努めてまいります。

# 株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様に適時・適切な情報開示を行うとともに、IR活動に努めてまいります。

## IR活動

事業報告書やホームページを通して、株主・投資家の皆様に適時・適切な情報開示を行っております。また、トップインタビューや当社の歴史・製品に関するコラム等の掲載も行い、当社についてご理解いただけるよう工夫を重ねております。

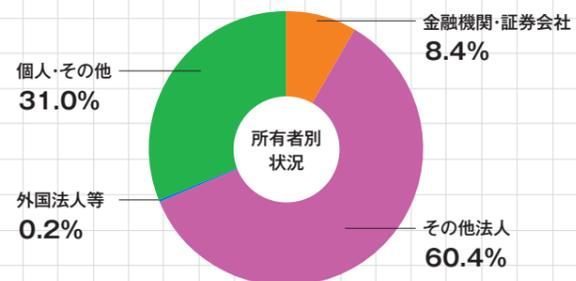
### ●ホームページ



### ●事業報告書



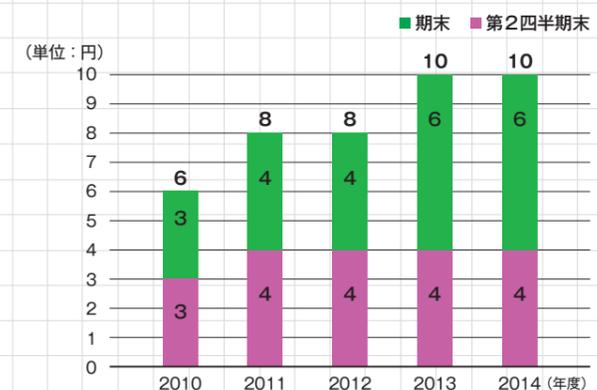
### ●株式の分布状況



## 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益配当を経営の最重要課題の一つとして認識しております。株主の皆様への利益還元を重視しつつ事業の成長及び企業体質強化のための内部留保の充実を総合的に実現すべく、継続的な利益確保とバランスのとれた安定配当を行うことを基本方針としております。

### ●配当の状況(1株当たり)



総務課長  
荒井健太郎

voice

株主・投資家の皆様に公平かつ適切なタイミングで有用な情報を開示することで、当社について理解を深めていただけるよう心掛けております。また、今後も様々な機会を通じ、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、適切な情報提供を行うことで、正当な評価と信頼が得られるよう努めてまいります。



# 社員とともに

多様な社員が安全で安心して働くことのできる職場環境づくりを行うとともに、積極的に人材育成に取り組んでいます。



人事総務部長  
木下雅智

## 安全・衛生に関する方針

### 安全・衛生に関する方針

当社で制定した「全社安全衛生管理方針」に基づき、毎年目標を掲げ、重点実施事項を定めてその着実な実行を図るとともに、一人一人の安全意識の高揚を推進しております。また、労働災害の未然防止のため、「働きやすく安全を含めた生産性向上に寄与する職場環境形成の推進」に取り組んでいます。

### 安全活動

労働災害防止と安全意識高揚のための活動として、労使による労使監査・全社安全衛生パトロール及び事業所毎のパトロールを実施しております。また、社内外安全衛生講習会への参加や3S(整理・整頓・清掃)の推進、職場懇談会の開催等を行い、安全活動の推進を行っております。

2013年度は休業災害発生ゼロを達成しました。それに伴い休業度数率・休業強度率も共にゼロであり、引き続き労働災害の防止に努めてまいります。

● **度数率** 災害発生の頻度を示した指数。労働時間100万時間あたりの労働災害による死傷者数

|       | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 度数率   | 0      | 1.54   | 0      | 1.72   | 0      | 0      |
| 全産業平均 | 1.75   | 1.62   | 1.61   | 1.62   | 1.59   | 1.58   |

● **強度率** 災害の重篤度を示した指数。労働時間1,000時間あたりの休業災害のために失われた労働損失日数

|       | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 強度率   | 0      | 0.01   | 0      | 0.01   | 0      | 0      |
| 全産業平均 | 0.10   | 0.09   | 0.09   | 0.11   | 0.10   | 0.10   |

### 会社表彰制度

経営方針及び部門方針の遂行並びに日常の業務遂行に当たって、会社業績の向上に大きく寄与すると認められる個人あるいはグループに対して、これを表彰・公示して、会社としての謝意を表明すると共に広く従業員の意欲向上を図るものとして、「特別功労表彰規程」を設けております。対象者には賞状及び賞金を授与しております。

### topics 防災訓練

各事業所にて、緊急事態への対応に備え、定期的に防災訓練を実施しています。

訓練は、実際の緊急事態に備え対応できるように、工夫して行っています。

voice  
茨城工場 製造課  
山田達夫

茨城工場で工場消防隊長をしている山田です。自衛消防隊は初期消火活動が重要になります。消火器で消せなかった火を、工場消防隊の化学消防車・屋外消火栓を使用し消火するのが、我々の任務になります。緊急時に対応できるように毎月訓練を実施しています。



## 人材育成と人事制度

### 有給休暇・リフレッシュ休暇制度

当社では、年間最大23日間の年次有給休暇を付与しています。また、連続年休の取得については労使で協力して推進し、取得しやすい雰囲気づくりをしています。また、特別休暇として、勤続10年、20年、30年の節目に、節目休暇を付与し、心身を積極的にリフレッシュする機会を提供しています。

### voice

11年目となる昨年に10年の節目休暇を取得しました。共働きで子供二人を保育園に通わせ忙しい毎日を過ごす我が家にとって丸一日を家族で過ごせる長い時間を作ることができ子供たちの成長を感じられる貴重な休暇となりました。また、グローバル化という観点から、自分自身、そして子供達にも海外での体験を増やしたいという思いから1週間を海外で家族と共に過ごしました。この休暇の取得によって、異国文化に触れることができ、再び仕事への活力を増すことができました。過去から続く良い制度であり、その環境が整っていると思います。



第二事業部 企画開発グループ  
堀大祐

### 育児・介護休暇制度

当社では、仕事と育児・介護を両立できるよう、育児休暇規程・介護休暇規程を制定し、支援に取り組んでおります。育児休暇利用者は、2013年度は1名となっています。今後も従業員が、継続して安心して働くことのできる環境づくりを支援していきます。

### ● 育児休暇取得者数

|    | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 男性 | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 女性 | 5      | 2      | 2      | 2      | 1      | 1      |

### voice

昨年育児休暇を取得し、本年度より時短勤務で職場復帰しております。昨今、出産・育児後の女性の社会復帰の難しさが取り沙汰されることも多い中、ただ制度があるだけでなく、きちんと子育てのための時間を認めてくれる会社の風土に、大変感謝しています。初めてのことに四苦八苦しているうちに、あっという間に過ぎ去ってしまった育児休暇期間ですが、子供がめまぐるしく成長していく貴重な時間を間近でずっと見ていられたことは、私の一生の財産です。



接着技術相談センター  
遠藤和香子

### 採用・人事活動

能力のある人材を採用するとともに、様々な研修およびOJTを通じて、人材の育成に努めています。

### 「国際的な採用活動」

### voice

グローバル化展開の背景で、優秀なグローバル人材を目指して、語学力を生かし、異文化の魅力および日本らしい技術力を感じたいと思い入社しました。90周年を越えたセメダインは、日本を本拠とし、東アジアにて活躍しています。今後、アメリカやヨーロッパなどの地域にも、セメダインというブランドを広めていきます。



第三事業部 販売第八課(東京)  
Mingguang Lin  
林明光

### 「女性の積極的な採用活動」

### voice

開発部ではお客様により良い接着剤をご提案できるよう、日々新しい接着剤の開発に取り組んでおります。入社して三年目となりますが、男女分け隔てなく様々な仕事をする事ができ、また毎月の3S、使用物質の管理により職場環境も日々改善しておりますので、女性としても安心して仕事に打ち込むことができっております。



開発部 研究第五グループ  
石原奈穂子

# 地域社会とともに

地域に根差した企業として、事業所が所在する地域への社会貢献と積極的な交流に努めています。

## 地域社会貢献活動

### 地域貢献活動

東京青年会議所が主催する2つのプロジェクト(「東京寺子屋」「しながわ職場歩き」)に参画し、講師の派遣や生徒の受入れを行い、品川区の中学生を中心に、「はたらくことに対する情熱」「ものづくりの楽しさ」を子供達に伝える活動を行っております。



品川区立荏原第五中学校における「東京寺子屋」の授業風景

voice

セメダインでは、子供たちに父親が労働者として働いている姿を実際に見ることができる、「子供参観日」が開催されています。

私の住まいは神奈川県、オフィスは都内の品川区にあるため、子供たちはまず、電車での通勤時間の長さを体験します。オフィスでは、各職場への挨拶回りを行ったり、工作教室も開催され、職場の雰囲気やどのような会社なのかを感じ取ることができます。

今回も、未就学児童2名が参加しましたが、今後も是非参加し、子供たちの社会勉強をさせてもらうとともに、職場の皆さんの育児への理解にもつなげていきたいと思っております。



第三事業部 販売第八課(東京) 西澤辰雄

### 「つける」「つくる」体験を提供する工作教室

当社では、次世代を担う子どもたちに、つけることの楽しさと、つくことの不思議を知る機会を提供し、もの作りへの興味・関心を育成するきっかけ作りを推進することを目的に、小学生を対象にした工作教室を行っています。

昨年度は、約1,000名の小学生・保護者に対して工作教室を実施。子供たちがくっつけることへの興味を持てるよう、接着剤のくっつく仕組みや歴史に関する講義・実験と、実際に接着剤を使って貯金箱を組み立て、飾りつけをするワークショップを通して、座学と体験の両面からのアプローチを行いました。

こうした、接着剤で「くっつけて作る」ことへの更なる興味関心の輪を広げるべく、今後も積極的に活動を続けてまいります。



小学生を対象とした工作教室の講習風景

### 次世代育成支援

当社は、「人を大切にする」企業理念に基づき、従来より育児と仕事の両立を支援する職場環境の整備に取り組んでまいりましたが、具体的な行動計画目標の達成が認められ、次世代育成支援認定事業主として、認定事業主マーク(愛称:くるみん)を平成20年9月22日に取得しました。

また、次世代育成支援対策一般事業主行動計画として次の目標を設定いたしました。

期間：平成24年11月28日から平成27年3月31日までの3年間

目標1：小学校就学前の子供を育てる社員がフレックス勤務制度を利用できる措置の実施

目標2：インターンシップ等の就業体験機会の提供の拡充

目標3：子供が保護者である労働者の働いているところを実際に見ることができる「子供参観日」の定着化



### 子供参観

保護者の働く姿を見ることと通じて、保護者のことをより一層理解するよい機会とするとともに、職業観の醸成や親子のふれあいを深めるきっかけとして行っています。

また、職場においても、社員が家庭教育や各自の『働き方』について、考える機会となり、仕事と生活をうまく両立させる『ワークライフバランス』の推進につなげていくことを目的としています。



### フォークリフト運転技能講習

平成11年から茨城工場の食堂及び駐車場で、毎週土日を利用して古河労働基準協会主催のフォークリフト運転技能講習を実施しています。フォークリフト運転技能講習は工場などの敷地内で、最大荷重1トン以上のフォークリフトを運

voice

私は古河労働基準協会より依頼され技能講師をしている荒木です。フォークリフト運転技能講習の講師になり、多くの受講生を教育してきました。講習会場は屋外ですので、天候の悪いときは大変ですが、フォークリフトでの労働災害が無くなるよう、正しい運転方法が身につくように教育しています。



フォークリフト講師 茨城工場 製造課 荒木政和



茨城工場駐車場内でのフォークリフト運転技能講習

### 清掃ボランティア

三重工場では社会貢献の一環として年に3回工場周辺道路及び側溝の清掃活動を行っています。



### 古河花火大会への協賛

古河市では毎年8月の第一土曜日に花火大会を開催しています。関東地方では最大級となる三尺玉を3発、そして、打ち上げ総数も関東最大級となる約2万発を打ち上げます。三尺玉の他には、大好評のワイドスターメイン、メロディー付きスターメイン等々の花火は見所満載です。渡良瀬のハートを射抜く三尺の玉のほか、花火の大きさ、打ち上げ総数共に関東最大級の古河花火大会に是非お越しください。

転するために必要なカリキュラムで、学科と実技からなる技能講習を受講して、修了試験に合格し、資格が取得できます。

また、この資格の技能講師は当工場の従業員が指導にあたり、フォークリフトを安全に操作できるように熱心に教育しています。

voice

セメダイン(株)茨城工場にてフォークリフト技能講習を受講して、まず学科講習として、主に労働安全衛生法についての説明があり、労働災害を防止するために「安全はすべてに優先する」ことを学びました。また、実技講習試験では、フォークリフトの走行の基本操作として、定められたコースによる基本走行および応用走行等を学びました。

今回、実際にフォークリフトの運転操作をして、非常に便利であると同時に、一つ操作を間違えば、大事故につながる危険性があることを学び、何よりも「安全第一」で作業する大切さを実感いたしました。



フォークリフト講習合格者 茨城工場 製造課 佐藤憲一

### ソフトボール大会

平成25年10月20日(日)に「第33回古河市工業会親善ソフトボール大会」が開催されました。古河市の企業から17チーム、総勢290名が参加して盛大に行われ、天候にも恵まれて、優勝はセメダイン(株)、準優勝は京三電機(株)、第3位は積水ハウス(株)と積水化成成品工業(株)Aとなりました。

voice

当社は第2回大会に優勝して以来31年ぶりの優勝です。ここ数年は、あと一歩のところまで負けていたので、優勝をつかみ取ることができ本当にうれしいです。

古河市工業会のソフトボール大会は、45歳以上又は女性が2名以上常に試合出場する特別ルールがあり出場することが出来ないことがありましたが、近年は45歳以上の野球経験者とスーパーエースが女性のピッチャーという強力なチームを作ることが出来ました。今年も精鋭を揃え連覇を目指します。



茨城工場 総務課 柴 誠

# 環境への取り組み

大切な経営資源である地球環境を守るため、「住む人にやさしい、使う人にやさしい、環境にやさしい」製品づくりを使命として環境活動に取り組んでいます。

## 環境方針

2003年に、全社の環境活動の基本となる環境方針を制定しています。

### 基本方針

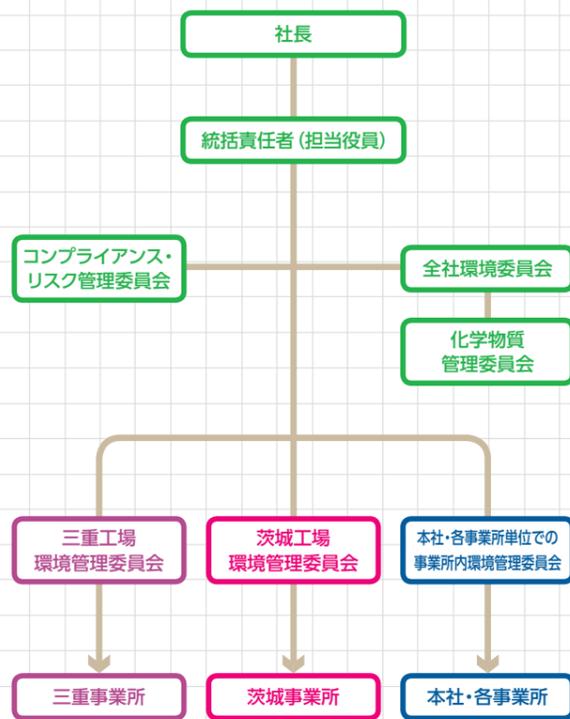
セメダイン株式会社は、全社員が環境の重要性と資源の有限性を認識し、その保全・保護・改善に不断の努力を行うとともに、環境を視野に入れた企業発展を目指し、社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業を指向する。

### 行動指針

セメダイン株式会社は、「接着剤・シーリング材ならびにこれらの関連製品の開発・生産・販売」の事業活動において、その活動を地球環境の保護に調和させ、かつ持続的発展の可能な環境保全型企業実現のため、全社員が遵守すべき指針を以下に示す。

- 1 製品の開発から廃棄に至るすべての事業活動において、環境・安全・健康への影響に配慮することを経営の重点課題とし、全社挙げてこれに取り組む。
- 2 環境保護に対する社内体制の整備、環境負荷低減目標の設定、環境保護活動の推進に積極的に取り組むとともに、これらの活動を通じて環境へのさらなる意識向上を図る。
- 3 製品の全サイクルを通じ、環境保護のための省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物削減などの環境負荷低減に積極的に取り組み、その継続的改善に努める。
- 4 国・地方自治体・業界などが定める環境関連規制をよく理解するとともに、必要に応じて自主基準を設定し、これらの規制・基準を遵守する。
- 5 製品の輸出や海外での事業活動に際しては、現地の環境保護・法令等に配慮し、必要な対策の実施に努める。

## 推進体制



## 環境マネジメントプログラム

各事業所の環境管理活動の指針となる全社環境マネジメントプログラムを策定し、各事業所の活動の基準としています。

### ● 全社環境マネジメントプログラム

- 1 資源・エネルギーの使用量把握と削減
  - 電力・重油の使用量を削減する。
- 2 廃棄物排出量の把握と削減
  - 廃棄物を削減する。
- 3 環境保全
  - 大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)排出量を削減する。
  - 環境法令を遵守する。
  - 建物・設備の導入・更新時に環境に配慮する。
  - グリーン購入を推進する。
- 4 化学物質使用量の把握と削減
  - 有害化学物質の使用量を削減する。
  - 使用する化学物質の環境影響評価を行う。
  - 包装材料使用量を把握する。
- 5 環境配慮製品の開発
  - 環境配慮製品の開発、販売を推進する。
- 6 環境情報の公開と外部コミュニケーション
  - 環境活動内容を公開する。
  - 企業活動を通じて地域・社会へ貢献する。

# 環境マネジメントの定量的評価

環境マネジメントプログラムにもとづいた活動と実績を把握し、将来の活動目標へつなげています。

- 改善
- △ 改善されているが不十分
- × 改善できず
- 評価なし

## 全社環境マネジメントプログラムの結果

|                         | 2011  | 2012  | 2013  | 目標                              | 実績   | 自己評価 |
|-------------------------|-------|-------|-------|---------------------------------|--|------|
| CO <sub>2</sub> 排出量(トン) | 5,427 | 5,450 | 6,256 | —                               | 上段は、電力、A重油、ガソリンのエネルギーから算出、下段は温対法による報告値です。エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量は806トン(14.7%)増加しました。また、温対法により行政へ報告するCO <sub>2</sub> 排出量も833トン(15.5%)の増加となりました。いずれも、電力会社の換算係数の変化が大きく影響していると考えられます。なお、省エネ法によるエネルギー使用量の行政への報告値は、前年度の2,335KLから2,588KL(原油換算値)に増加しました。 | ×    |
| 電力使用量(万kwh)             | 472   | 457   | 466   | 工場部門：生産量原単位比で1%削減<br>事務所部門：1%削減 | 生産量が増加したことから、電力使用量は前年度よりも増加しました。一方、工場部門の生産量あたりの原単位は13.4%の減少、事務所部門では10.3%の増加となり、目標を達成することが出来ませんでした。   | ×    |
| A重油購入量(KL)              | 1,228 | 1,152 | 1,376 | 生産量原単位1%削減                      | 購入量は前年度から増加しました。生産品目の変化により、生産量当たりの原単位で7.0%の増加となり、目標である1%削減を達成できませんでした。   | ×    |
| VOC排出量(トン)              | 11.0  | 11.1  | 12.8  | —                               | 日本接着剤工業会の重点削減対象9種類の使用量(購入量)に、大気への排出値として1.05%(工業会の設定した基準値)を乗じた値です。生産量増加に伴い、溶剤使用量、排出量も増加しました。  | △    |
| ガソリン購入量(KL)             | 58    | 52    | 42    | —                               | 営業活動に影響を受ける項目ですが、前年に比較して10KLの減少となりました。   | —    |
| PPC用紙購入量(万枚)            | 275   | 274   | 267   | —                               | 事務業務全般の指標となりますが、前年からわずかに減少しました。  | ○    |
| 水使用量(千m <sup>3</sup> )  | 64    | 68    | 80    | —                               |  | —    |
| 一般廃棄物排出量(トン)            | 116   | 44    | 49    | 年間100t以下                        | 前年度より増加していますが、目標である年間100t以下を維持しています。   | ○    |
| 産業廃棄物排出量(トン)            | 744   | 761   | 906   | 年間生産量の5%以内                      | 工場から排出される、製品の切り替え等で発生する産業廃棄物です。生産量に対する原単位は4.6%で、前年度の4.3%から増加していますが、目標である5%以内は達成しました。   | ○    |
| 有害廃棄物排出量(トン)            | 46    | 31    | 36    | 年間生産量の0.5%以内                    | 工場から排出される特別管理産業廃棄物です。生産量に対する原単位は0.19%で、前年度の0.17%から微増していますが、目標である0.5%以内は維持しています。  | ○    |
| 環境配慮製品の開発(件)            | 56    | 33    | 23    | —                               | 色、規格等の重複を除いた、開発部で新規に設計、発売された製品の数です。  | ○    |
| 環境配慮製品の販売量(百万円)         | 6,529 | 6,585 | 7,148 | 総売上金額の30%以上を維持                  | 当社基準のCCSマーク品、JIS、JIAのF☆☆☆☆品、JIAの4VOC基準適合品の販売金額です。売上高(21,437百万円)に対する比率は約33%であり、目標である30%以上を維持しています。  | ○    |
| 新規使用材料の環境調達基準適合確認(件)    | 35    | 37    | 21    | —                               | グリーン調達を進める中で、新しく採用する原材料の自社調達基準への適合を確認した件数です。なお、実施率は100%です。   | ○    |
| 環境関連の教育・訓練回数(件)         | 77    | 59    | 73    | —                               | 主に工場部門での環境汚染防止等を含む訓練の回数です。   | ○    |
| 環境事故発生回数(件)             | 2     | 5     | 0     | —                               | 工場内での異常発生回数です。なお、法令に抵触するような事故の発生はありません。  | ○    |
| 第三者監査・第三者監査(件)          | 2     | 4     | 3     | —                               | 特に是正を必要とする指摘はありませんでした。   | ○    |

特記のない限り、対象事業者は、本社・大阪事業所・名古屋事業所・茨城事業所・三重事業所・開発センターです。

### voice

#### 茨城事業所の環境マネジメント定量的評価

2013年度は茨城工場の生産量が増えたため、エネルギー使用量・CO<sub>2</sub>排出量・産業廃棄物排出量がいずれも増加しました。特に省エネ法対応として、省エネ改善(変電所の変圧器更新・照明機器の高効率化等)に力を入れて取り組んでいますが、それ以上に生産品目構成の変化(少量多品種生産へのシフト等)による影響が大きく、生産量原単位として比較しても増加することとなりました。(下表参照)

また、2013年5月には3年に1回、自主的に実施している工場敷地境界等における騒音振動測定・土壌溶出試験・特定悪臭物質測定・地下水分析・排水有害物質分析を行いました結果、法令順守状況にあることを確認しています。

今年1月にはISO14001の第4回目となる更新審査を受審し、3月10日付にて適合判定を受けています。

|                        | 2012年度 | 2013年度 | 対前年度比(%) |
|------------------------|--------|--------|----------|
| 茨城工場生産量(t)             | 9,228  | 10,163 | 110.1    |
| エネルギー使用量(kL)           | 1,500  | 1,672  | 111.5    |
| CO <sub>2</sub> 排出量(t) | 3,725  | 4,305  | 115.6    |
| 産業廃棄物排出量(t)            | 502    | 653    | 130.1    |



取締役 生産・物流本部長 舘野 信



# 事業活動と環境負荷

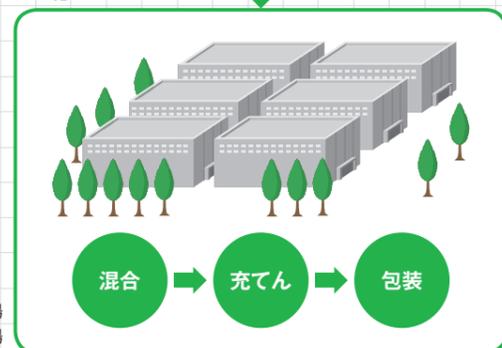
事業活動を通じた環境への負荷を「見える化」することで、マネジメントシステムの更なる改善を進めています。

## 化学物質のインプットとアウトプット

### INPUT

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| <b>原材料</b>    | <b>電力</b> 444万kwh           |
| ゴム類 237t      | 有機薬品類 1,997t                |
| 樹脂類 9,233t    | 無機材料 12,461t                |
| 油脂・溶剤類 2,020t | その他 170t                    |
|               | <b>燃料</b> 1,465kl           |
|               | <b>水</b> 8.3万m <sup>3</sup> |

### 工場



対象：茨城工場・三重工場  
セメダインケミカル株式会社 岡山工場

CO<sub>2</sub>排出量：電力燃料使用量より算出した数値。  
VOC排出量：日本接着剤工業会の重点削減物質使用量に一定の係数を掛けた値。  
[n-ヘキサン、シクロヘキサン、トルエン、キシレン、メタノール、酢酸エチル、アセトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油]

### OUTPUT

|                   |                              |                   |
|-------------------|------------------------------|-------------------|
| <b>製品</b> 26,176t | <b>CO<sub>2</sub></b> 6,581t | <b>廃棄物</b> 1,131t |
|                   | <b>VOC (揮発性有機化合物)</b> 12.8t  |                   |

### voice

三重工場の主力製造品目は、建築、土木用接着剤及びシーリング材です。当工場の2013年度実績として、約800t/月生産しています。

また、無溶剤工場であり、有機溶剤を使用した製品を一切生産していません。

2000年にはISO14001を認証取得し、以降このマネジメントシステムに沿って活動しています。

2013年度の環境負荷として、生産量に見合う原材料（無機類、樹脂類、有機薬品類）及び副資材、電力170万kwh、重油36KL、水3,640m<sup>3</sup>のインプットから、9,450tの製品出荷、265tの廃棄物がアウトプットとして排出されました。

廃棄物の内訳として大きいものは、製造工程から排出される接着剤残渣166t、金属屑（原材料の空缶）27t、特管廃油（洗浄溶剤）22tです。

インプット・アウトプットとも生産量により増減する為、ISOでは原単位化して管理しています。



三重工場長  
前田義信

# 環境会計

環境活動を貨幣価値へ換算することで、環境活動の効果測定を行い環境活動の成果と課題設定に活用しています。

## 環境保全コスト

(単位：千円)

| 分類        | 2012年度    |        | 2013年度 |         | 主な取り組み内容   |   |
|-----------|-----------|--------|--------|---------|--|---|
|           | 投資額       | 費用額    | 投資額    | 費用額     |  |   |
| 事業エリア内コスト | 公害防止コスト   | 5,474  | 7,242  | 6,200   | 7,429  | ● 集塵器設置<br>● ボイラー・空調機の更新<br>● 排水槽・ボイラー・浄化槽の点検<br>● 霞ヶ浦工業用水の利用 |
|           | 地球環境保全コスト | 5,053  | 1,448  | 0       | 1,968  | ● 空調機の保全<br>● 恒温室の保守  |
|           | 資源循環コスト   | 0      | 38,494 | 0       | 81,015   | ● 廃棄物処理委託   |
|           | 小計        | 10,526 | 47,184 | 6,200   | 90,412   |   |
| 上・下流コスト   | 0         | 2,752  | 0      | 2,243   | ● 環境配慮品用の製造設備設置<br>● 容器包装リサイクル委託<br>● 製品の再商品化（再加工）<br>● グリーン購入       |   |
| 管理活動コスト   | 0         | 6,588  | 0      | 7,098   | ● 環境管理活動（ISO関連含む）<br>● 環境教育<br>● 環境測定<br>● 有害物質分析<br>● 事業所緑化・美化・景観保持 |   |
| 研究開発コスト   | 0         | 8,498  | 0      | 9,399   | ● 環境配慮新製品の開発費（分析用備品・備品消耗品の購入）  |   |
| 社会活動コスト   | 0         | 23     | 0      | 23      | ● 環境保全活動   |   |
| 合計        | 10,526    | 65,045 | 6,200  | 109,175 |  |   |

集計範囲：茨城事業所、三重事業所、本社事業所、開発センター

## 環境保全効果

(単位：千円)

| 分類         | 主な内容          | 金額        |           |
|------------|---------------|-----------|-----------|
|            |               | 2012年度    | 2013年度    |
| 省エネによる削減   | 節電、重油使用量の削減   | ▲236      | 851       |
| 廃棄物関連      | 有価物（金属くず等）の売却 | 7,333     | 6,282     |
| 環境配慮品の市場展開 | 環境配慮品の販売粗利益   | 1,292,627 | 1,289,382 |
| 合計         |               | 1,299,724 | 1,296,515 |

集計範囲：茨城事業所、三重事業所、本社事業所、開発センター

# 環境への配慮

私たちの製品は環境に配慮した製品づくりに心がけており、法規制や各種方針への対応を進めています。

## 製品における環境配慮

化学物質に関連する法規制、お客様の環境調達（グリーン調達）方針や、その他の要請を考慮した自主的な使用化学物質の制限等を包含したものと、グリーン調達のガイドラインを策定し、製品開発の際の重要配慮事項とするとともに、既存製品の見直しも順次進めております。

### ● 建築用途製品での環境対応

セメダインにおける建築用接着剤、シーリング材の対応概要は下記の通りとなります。

| 法規制等    | 対象物質          | 基準                        | 製品への表示            |
|---------|---------------|---------------------------|-------------------|
| 毒劇物取締法  | 法、指定令の劇物      | メタノール、トルエン、キシレン、ホルムアルデヒド等 | 意図的な使用の禁止（社内基準）   |
| 労働安全衛生法 | 製造禁止物質        | 石綿（アスベスト）                 |                   |
| 厚労省指針   | 室内空気濃度指針値設定物質 | ホルムアルデヒド等 14物質            | 日本接着剤工業会基準        |
|         |               | トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン    |                   |
| 建築基準法   | 放散量（速度）規制物質   | ホルムアルデヒド                  | JIS規格（建築用・木材用接着剤） |
|         |               |                           | 日本接着剤工業会基準        |
|         |               | 日本シーリング材工業会基準             |                   |
|         |               |                           | F☆☆☆☆（JIS）        |
|         |               |                           | F☆☆☆☆（JAIA）       |
|         |               |                           | F☆☆☆☆（JSIA）       |

## PICK UP

### 環境配慮型製品 SX-UV シリーズ (UV後硬化形弾性接着剤)

セメダインSX-UVシリーズは、従来の“貼り合わせ後に紫外線照射を行う方式”と異なり、紫外線照射後に貼り合わせが出来る、これにより“不透明材料の接着が可能”になりました。また、硬化後は高い柔軟性を有し、微振動やヒートショックに対し優れた接着耐久性を有します。スーパーX No.8008の様な粘着剤であるSX-UV100、短時間速硬化の接着剤SX-UV200をラインナップしております。また、どちらも、精密塗布機によるパターン塗布や、スクリーン印刷による塗布も可能です。



開発部長  
齋藤 敦

voice

設計段階から、環境影響物質の使用抑制を実施し、省資源、解体容易性、長期使用性等の資源循環を考慮した製品作りに取り組んでいます。また、正確で分かりやすい環境情報開示にも積極的に努めます。併せて、お客様に喜んでご利用頂ける製品作りを目指し、環境に配慮された高機能・高性能品の追及にチャレンジし続けます。

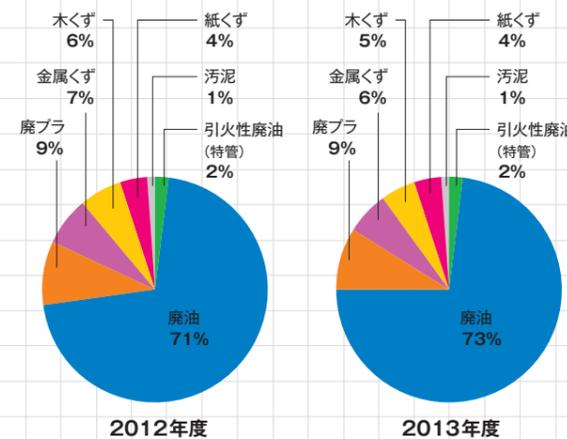
# エネルギー使用量・廃棄物の管理

エネルギー使用・廃棄物の数値を分析し、より効率的な環境活動の実現を目指しています。

## エネルギー使用量・廃棄物実績

2013年度の廃棄物排出量は、茨城・三重工場の生産量の変動の影響で増加する結果となりました。生産量1トンあたりの排出量も増加の傾向があり、品種の増加、小スケール化による切り替えロス増加の影響があると考えられます。生産工程の改善を継続し、今後も廃棄物の削減に取り組んでまいります。

### ● 2012、2013年度の廃棄物の量と内容 (茨城、三重の両工場集計)



### ● エネルギー使用量実績

| エネルギー種類  | 全社     |        | 茨城工場   |        | 三重工場   |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|          | 2012年度 | 2013年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2012年度 | 2013年度 |
| 電力(千kwh) | 3,139  | 3,005  | 1,504  | 1,305  | 1,635  | 1,700  |
| A重油(KL)  | 1,151  | 1,372  | 1,117  | 1,336  | 34     | 36     |
| 水(m³)    | 61,161 | 77,420 | 56,608 | 73,781 | 4,553  | 3,639  |
| LPG(m³)  | 2,269  | 2,123  | 2,159  | 2,001  | 110    | 122    |

### ● 廃棄物実績

(単位:トン)

| 物質名       | 全社     |        | 茨城工場   |        | 三重工場   |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 2012年度 | 2013年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2012年度 | 2013年度 |
| 引火性廃油(特管) | 11.8   | 21.3   | 9.3    | 19.4   | 2.5    | 1.9    |
| 廃油        | 521.3  | 671.0  | 379.3  | 505.3  | 142.0  | 165.7  |
| 廃プラ       | 68.9   | 76.6   | 50.0   | 55.0   | 18.9   | 21.6   |
| 金属くず      | 49.3   | 58.0   | 25.2   | 31.2   | 24.1   | 26.8   |
| 木くず       | 41.7   | 48.1   | 27.4   | 36.3   | 14.3   | 11.8   |
| 紙くず       | 31.5   | 36.7   | -      | -      | 31.5   | 36.7   |
| 汚泥        | 10.6   | 6.2    | 10.6   | 6.2    | -      | -      |
| 合計        | 735.1  | 917.9  | 501.8  | 653.4  | 233.3  | 264.5  |
| 再資源化量     | 184.8  | 188.0  | 130.2  | 169.3  | 54.6   | 18.7   |

## 環境負荷の低減

化学物質の取扱い及びエネルギー使用において、環境負荷の低減の実現を進めています。

### ● 化学物質の適正管理 PRTR対象物質実績 (2013年度)

(単位:kg)

| (No.) | 物質名             | 全社  |       |       | 茨城工場 |     |       | 三重工場 |     |     |
|-------|-----------------|-----|-------|-------|------|-----|-------|------|-----|-----|
|       |                 | 排出量 | 移動量   | 計     | 排出量  | 移動量 | 計     | 排出量  | 移動量 | 計   |
| 1     | 亜鉛の水溶性化合物       | 0   | 15    | 15    | 0    | 15  | 15    | -    | -   | -   |
| 134   | 酢酸ビニル           | 0   | 11    | 11    | 0    | 11  | 11    | -    | -   | -   |
| 239   | 有機スズ化合物         | 0   | 219   | 219   | 0    | 150 | 150   | 0    | 69  | 69  |
| 265   | テトラヒドロメチル無水フタル酸 | 0   | 54    | 54    | 0    | 54  | 54    | -    | -   | -   |
| 300   | トルエン            | 110 | 110   | 220   | 110  | 110 | 220   | -    | -   | -   |
| 349   | フェノール           | 0   | 300   | 300   | 0    | 300 | 300   | -    | -   | -   |
| 392   | ノルマル-ヘキサン       | 0   | 97    | 97    | 0    | 97  | 97    | -    | -   | -   |
| 405   | ほう素化合物          | 0   | 222   | 222   | 0    | 190 | 190   | 0    | 32  | 32  |
| 411   | ホルムアルデヒド        | 0   | 10    | 10    | 0    | 10  | 10    | -    | -   | -   |
|       | 合計              | 110 | 1,038 | 1,148 | 110  | 937 | 1,047 | 0    | 101 | 101 |

PRTRとは、環境汚染の防止を目的に、各事業者が化学物質の管理に自主的に取り組むべき法律としてPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(1999年7月公布))が制定されました。この法律の規制のひとつとして、指定された取り扱いの化学物質の環境への排出(大気や土壌への排出)や移動量(廃棄された物)を国へ届け出ることがあり、これにより事業者は自主的に削減に取り組むことが要請されています。

# 化学物質の適正管理

化学物質を取り扱う企業として、環境負荷低減にむけた取り組みを推進するために、適切な管理を行っています。

## 化学物質管理委員会の実施

工場・購買・開発・営業・品質など各部門が集まり、定期的(1回/月)に“化学物質管理委員会”を開催しています。

本委員会では、国内の法規制やお客様・業界個別のグリーン調達、近年増加している輸出に対応するための各国・地域の規則など、各部門に伝達することにより、必要情報の周知・共有を図り、迅速な対応ができるよう、各部門の役割分担を明確化しています。また、新規登録した原材料についても、各種法規制や取り扱い情報などの報告を行っています。

化学物質の取り扱いや製品の安全性など、リスク管理を先取りできるように、本委員会にて審議し、全社へ情報を発信しています。



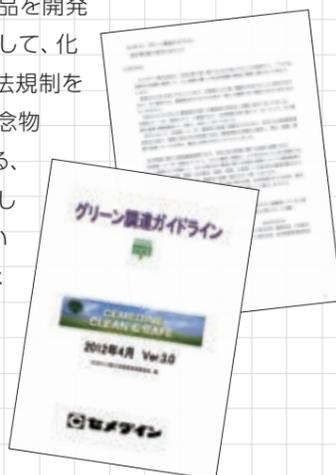
## 化学物質の安全管理体制

世界各国で、化学物質規制の強化に向けた動きが活発化していることから、化学物質の情報管理・各国向け安全データシート(SDS)の作成・提供が、ますます重要性をましています。



## グリーン調達ガイドラインの実施

セメダインでは、環境に配慮した安心できる製品を提供するため、「グリーン調達ガイドライン」を定め、製品の環境負荷物質管理や、原材料・包装材料の取引先の品質・環境管理の調査を行っています。具体的には、SDSや、JUMP MSDSplus(AIS)、環境管理に対する調査表の提出を求めています。さらには、製品を開発する際の重要配慮事項として、化学物質に関する国内外の法規制を調査し、RoHS指令や高懸念物質(SVHC)をはじめとする、使用禁止化学物質が含有していないことを確認しています。また、新製品のみならず、既存製品におきましても、随時、見直しを進めています。



## 分析の実施と技術の向上

主要製品については、定期的に外部委託にて、RoHS指令\*対象物質やハロゲン物質などの有害成分の分析を行っています。

社内分析については、開発・工場・生産技術・品質管理など様々な部門にて、F☆☆☆☆(JIS・JAIA・JSIA)のホルムアルデヒド分析や4VOC基準適合製品のVOC(トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン)分析など、多種多様に広がる分析の中から、それぞれ必要な分析を選定し、各分析の精度の向上を高めると共に、信頼される測定対応に努めております。

\*欧州連合(EU)による、電子・電気機器における、特定有害物質の使用制限についての指令。



# 第三者意見

麗澤大学経済学部・大学院経済研究科教授  
麗澤大学企業倫理研究センター副センター長  
博士(経営学)

## 倍和博氏

セメダイン株式会社(以下、同社)は、昨年度からCSR活動への取り組みを「社会・環境報告書」として整理されていますが、今年度はデザインのリニューアルによる読みやすさと分かりやすさの向上に取り組まれています。CSR活動の定量化を試みるCSR会計と持続企業経営を促進する立場から、以下に第三者意見を申し述べます。

## 高く評価できる点

業界のリーディングカンパニーである同社は、トップメッセージにおいて「事業成長」と「環境配慮」を事業活動の両輪と捉え、具体的な方策として自主基準を定めて常に改善を繰り返し、今後の成長に向けて「人」を大切にしている経営理念に基づく活動を展開しており、事業活動を通じて経営理念を価値に変える持続企業の条件に合致している点を評価します。

「特集記事①創業90周年」(p7-8)ではステークホルダーと共生する姿を、「特記事項②イチオシ製品」(p9-10)では商品開発に込められた想いを分かりやすくとり上げ、その基底にある“環境配慮マインド”を訴求しています。また従業員コメントが増加している点は、CSR活動の社内認知を高めており特筆に値します。東北地方の復興需要や社会インフラの再構築など社会課題を解決する事業をはじめ、ステークホルダーとの共生に向けた今後の展開が大いに期待できる内容となっています。

## 今後の改善に期待する点

海外の取り組みの充実が同社の喫緊の課題といえます。トップメッセージにおいて中期経営計画の「海外売上高比率を全売上高の30%にする」という目標や「中国をはじめ東南アジア各国の事業展開を積極的に進める」との指摘に止まっており、具体的な取り組み記載がない点は今後の課題といえます。

海外事業における環境活動や現地のコンプライアンスへの対応など事業リスクを認識する組織体制作り、すなわちCSRマネジメント体制の強化も重要な課題となります。また、今後の成長の源泉である「人材育成」に関しても、次年度に向けて同社の基本スタンスの報告を期待します。ステークホルダーとの共生を図り、持続企業として社会に貢献できる体制の確立を祈念しています。



2001年麗澤大学に奉職、現在に至る。日本経営会計学会理事、ICBM(International Conference on Business Management) Vice-President、経営関連学会評議会評議員他。2008年豪邦大学経営学部客員教授。著書に「CSR会計への展望」森山書店、「持続企業の条件:環境変化に打ち克つ5原則」麗澤大学出版会など多数。

## 第三者意見を受けて

執行役員  
品質管理本部長

## 川本 隆文

倍先生には昨年に引き続き貴重なご意見を頂戴し、心より御礼申し上げます。

昨年は、積極的なコミュニケーションを基盤としたステークホルダーとの共生に向けたこれからの展開を期待するとの言葉をいただき、私たちの「人を大切に、より良い製品をより多くの皆様に提供することによって社会に貢献する」という経営理念に基づく環境配慮活動などを企業経営にコミットする点を評価していただきました。

今年もセメダイングループの「ものづくりにおける環境配慮の大切さ」をさまざまなステークホルダーの皆さまにお伝えするため特集記事を組んで、より一層わかりやすい報告になるよう努めてまいりました。これに関しては今年も評価していただきましたので、私どもの方向性が間違っていないと意を強くした次第です。

毎日の業務がCSR活動に繋がっているとの意識を持って社員一同行動してきたつもりでしたが、まだまだ改善の余地が多々ありますので、ご提言を真摯に受け止め、これからも持続可能な社会・環境への貢献に向けてCSR活動に取り組んでまいります。

